

Niigata Award News

(食の新潟国際賞財団通信)

2018/11/29

第31号(表彰式典特集号)



Niigata Award

全日程

11月8日(木)

記者会見・表彰式・受賞者記念講演(朱鷺メッセ)

受賞祝賀会(ホテル日航新潟)

11月9日(金)

大賞受賞者特別講演会(朱鷺メッセ)

第5回食の新潟国際賞表彰式典開催



正賞モニュメントを手にする受賞者4名

(左より:村田吉弘氏、ジェヤクマール・ヘンリー氏、荒井綜一氏、前野浩太郎氏)

平成30年11月8日、第5回食の新潟国際賞表彰式典及び関連記念事業が朱鷺メッセ国際会議場で開催されました。

日本で唯一食の分野における国際賞の表彰式は各界から数多くの御来賓のご出席のもと、国際色豊かに厳粛かつ賑やかに開催されました。

その式典並びに関係記念事業についてお伝えします。



表彰式風景

第5回食の新潟国際賞受賞者

大賞 | 荒井 綜一 氏



東京農業大学 総合研究所 客員教授
神奈川県立産業技術総合研究所 食品機能性評価グループ 顧問
／日本

主な研究・活動：
機能性食品科学の創設と展開、コメの研究

受賞理由：

“機能性食品”の名称と概念を世界に先駆けて発信し、食品機能による健康増進の科学と産業に大きな貢献を果たした。その原理である「機能性食品科学」を創設した功績は大きく、国際的に大きな影響力を持っている。日本国内では特定保健用食品および機能性表示食品の制度化が施行され、食品企業の開発意欲を高めると同時に健康長寿社会実現に貢献している。

▼創出した低アレルギー米は、機能性食品（特定保健用食品）第1号に認定された。

大賞 | ジェヤクマール・ヘンリー 氏



シンガポール臨床科学研究所 臨床栄養研究センター 所長
シンガポール国立大学（ヨン・ルー・リン医科大学）生化学科教授
／英国

主な研究・活動：
途上国における糖尿病とコメの研究、難民のための栄養強化食品の導入

受賞理由：

コメの機能性と糖尿病対策の研究分野での第1人者であり、英国やシンガポールで初の機能性食品研究施設を設立など糖尿病予防の研究の国際的なリーダーとして貢献。

- ① 発展途上国におけるコメの研究と糖尿病対策
- ② 低GIパンの開発（GI=Glycemic Indexは血糖値の上がりやすさを示す指標）
- ③ 難民のための栄養改善と栄養強化食品の開発など先進国・発展途上国や難民に対する実践的な栄養改善を目指す取り組みや特に糖尿病予防の研究は国際的なリーダーとしてその活動は大きく評価される。

佐野藤三郎特別賞 | 村田 吉弘 氏



NPO法人 日本料理アカデミー 理事長
株式会社菊の井 代表取締役（菊乃井 主人）
一般社団法人 全日本・食学会 理事長／日本

主な研究・活動：
日本料理の伝統的な技術を科学的に研究、「日本料理を正しく世界に発信する」「公利のために料理を作る」、シンガポール航空の機内食「花ごよみ」の提供開始、日本食普及の親善大使、日本遺産大使

受賞理由：

「和食」のユネスコ無形文化遺産登録実現に貢献し、日本料理アカデミーを設立し和食を世界に発信し、日本料理の文化と技術の普及と人材育成に大きく貢献している。日本の伝統的食文化である和食を世界に広め、日本料理を国内外で発展させるため和食の世界遺産登録を提唱し先頭に立ち、世界各国を訪問し日本の食文化を精力的に伝え、登録実現に大きく貢献した。アカデミーを通じて地域に密着した食育活動や世界各国の料理人との交流、若い料理人の研修事業の受け入れなど日本料理の文化、技術などの世界への普及に大きな功績をあげている。

21世紀希望賞 | 前野 浩太郎 氏



国立研究開発法人 国際農林水産業研究センター（JIRCAS）
生産環境・畜産領域 研究員／日本

主な研究・活動：
アフリカで大発生するサバクトビバッタの生理・生態学的研究

受賞理由：

アフリカの病害虫サバクトビバッタの生理・生態の解明と防除技術の研究にサハラ砂漠にて世界で唯一現地調査に取り組み地球規模の農業問題解決に挑んでいる。一貫して、アフリカで深刻な食糧不足を引き起こす農業害虫であるサバクトビバッタの生理・生態学的特性の解明を研究してきた。短期間に爆発的に増加するバッタ特有の現象の制御メカニズムの解明にモーリタニア、モロッコなどを活動拠点としてのフィールドワークで研究してきた。7年間にわたり世界で唯一現地調査を行う研究者でサバクトビバッタの生態解明と殺虫剤の使用を軽減した防除技術の開発にも取り組んでいる。

※受賞理由は全て受賞当時のものです

第5回食の新潟国際賞表彰式



表彰式は約 170名の各界の御来賓や財団関係者の見守る中厳かに開会され、池田弘財団理事長の開会挨拶に続き、唐木英明選考委員長(公益財団法人 食の安全・安心財団 理事長)から選考経過と報告が行われました。

池田弘理事長から各受賞者に対し、表彰状並びに正賞モニュメント、副賞、目録の贈呈が行われました。

また、表彰式では多くの御来賓から御祝辞をいただきました。

農林水産省 中田峰示(大臣官房審議官)様、篠田昭新潟市長、国連食糧農業機関(FAO)駐日連絡事務所所長代理 松岡幸子(パートナーシップオフィサー)様、(独)国際協力機構(JICA)理事長代理 山田英也(上級審議役)様

そして表彰式の閉会にあたり、当財団を代表して田中通泰副理事長からの感謝の言葉で表彰式は幕を閉じました。



中田 峰示 様



松岡 幸子 様



篠田 昭 様



山田 英也 様



唐木 英明
選考委員長



田中 通泰
副理事長



正賞として授与されたトロフィーは、新潟県佐渡市出身の世界的な金属工芸作家であり、東京藝術大学元学長・現文化庁長官の宮田亮平先生によって制作された「シュプリングデン」です。

テーマは「跳躍。そして希望」。

未来に向かって2頭のイルカが力強く宙を舞います。

受賞祝賀会



表彰式に続いて、ホテル日航新潟の「朱鷺の間」において受賞祝賀会が開催され、約130名が出席しました。吉田 康副理事長の開宴の挨拶の後、受賞者の皆様を囲んで和やかな雰囲気の中に交流が行われました。

国際賞受賞をお祝いして、古町芸妓による艶やかで華やかな祝舞が披露され、篠田昭新潟市長の乾杯の御発声で祝賀会が開宴されました。

祝賀会では下記のご来賓の方々から御祝辞をいただきました。

・新潟県副知事 益田 浩 様

・WFP国連世界食糧計画 日本事務所所長代理 山崎 頼良(政府連携担当官)様

また、会場には第5回国際賞選考委員の皆様と第1回から第4回までの過去の受賞者の皆様からも御出席いただきました。

過去の受賞者を代表して(国研)国際農林水産業研究センター 理事長 岩永 勝氏(第4回本賞受賞者)からお祝いのスピーチをいただきました。

閉会の挨拶は当財団理事 中山 輝也氏(新潟県国際交流協会 理事長)から今後の国際賞へのご理解と協力についてのご願いとともに感謝の言葉を述べて閉宴となりました。



吉田 康 副理事長



山崎 頼良 様 (国連WFP)



益田 浩 副知事 (新潟県)



篠田 昭 市長 (新潟市)



岩永 勝 様 (JIRCAS)



中山 輝也 理事



記者会見

11月8日、表彰式前に朱鷺メッセで行われた記者会見には、多くのマスコミの皆様にお集まりいただき、国内外に国際賞の発信がされました。



大賞受賞者特別講演会

表彰式の翌日11月9日(金)には受賞者との交流会も兼ねて受賞者からの特別講演会が開催されました。今回は大賞受賞者の荒井 綜一氏とジェイクマール・ヘンリー氏のお二人から御講演いただきました。



会場には会員の食品企業の開発・研究担当者や食品研究機関、新潟大学や新潟薬科大学の大学院生・学生・研究者など約80名が出席され、熱心に聴講していました。お二人はご自分の専門分野での研究や活動の成果、今後の研究の展望や研究の重要性などわかりやすくお話いただきました。



なお、村田吉弘氏と前野浩太郎氏については来年2019年内に新潟市においてあらためて御講演いただくことになっております。是非ご期待ください。

公益財団法人 食の新潟国際賞財団 賛助会員(平成30年度)

● 特別会員

亀田製菓(株)
学新潟総合学園
佐藤食品工業(株)
新潟県農業協同組合中央会
(株)栗山米菓
(株)新宣
亀田商工会議所
にいがた22の会
(株)日本食糧新聞社
ホテル朱鷺メッセ(株)

(株)ブルボン
一正蒲鉾(株)
(株)第四銀行
亀田郷土地改良区
(株)新潟日報社
(株)エイケイ
(株)新潟クボタ
NST新潟総合テレビ
三菱商事(株)新潟支店

● 正会員

新潟市農業協同組合
新潟県信用組合
(株)第一印刷所
(株)本間組
石本酒造(株)
(株)ミカサ
神山物産(株)
丸七商事(株)
ハセガワ化成工業(株)
藤屋段ボール(株)
(株)タケショー
(株)新潟博報堂
BSN新潟放送
新潟陸運(株)
(株)新潟食品運輸
月島食品工業(株)
日本製粉(株)関東支店
日本甜菜製糖(株)
(株)鳥梅
新潟工科大学産学交流会

(株)キタック
北越工業(株)
丸榮製粉(株)
新潟万代島総合企画(株)
鍋林(株)ヘルスフーズ事業部
(株)鈴木コーヒー
TeNYテレビ新潟放送網
(株)栗田工務店
三和薬品(株)
松田産業(株)
セッツカートン(株)新潟工場
(株)藤井商店
日本精機(株)
東邦産業(株)
麒麟山酒造(株)
(株)加島屋
(株)日本フードリンク
(株)アド・メディック
UX新潟テレビ21

● 個人会員

藤島 安之 大越 齋 和田 充彦 古泉 肇 井田 増夫

(順不同)

食の新潟応援団(賛助会)募集中!

食を通じて飢餓や貧困などに苦しむ世界の現状に目を向けると、日本にいる私たちにも食の危機が及びつつあり、世界の人々の命が一つにつながっていることがわかります。

食と私たちの命を守る本財団の事業に賛同し応援して下さる皆様を募集しています。

詳しくはホームページをご覧ください。ホームページ <http://www.niigata-award.jp/jp/join/>